

CONGO

SMALL OFFICE,
HOME OFFICE ACCESS

リリースノート

最初におよみください。他のマ
ニュアルに書かれていない最新
の情報が記載されています。

0 付属しているマニュアルについて

この度は、CONGO をご購入いただき誠にありがとうございます。この冊子 (リリースノート) は、以下のマニュアルに書かれていない最新の重要な情報が記載されています。

簡単インストールガイド・Web Wizard

CONGOを設置し、すぐに使いたい方のためのマニュアルです。CONGOを設置してから、設定ユーティリティWeb Wizardを使用し、インターネット・サービス・プロバイダ (端末型ダイアルアップ接続サービス) と接続するまでの一連の手順が記載されています。また、この冊子はWeb Wizardのインストールと使い方を説明したマニュアルを兼ねています。

取り扱い説明書

各部の名称や設置・接続の方法、コマンドの分類や入力のかた、CONGOが持つ基本的な概念、ファームウェアのアップグレードの方法、ExpressACCessの使い方、トラブルシューティングなど、CONGOを使用するための基本的なことについて記載されています。

User's Guide Manual

CONGO の応用例 (設定例) を目的別に説明したマニュアルです。CONGO を使用していくときのガイドとしてご覧ください。

Command Reference Manual

CONGOのコマンドの一つ一つを詳細に説明したマニュアルです。コマンドの書式やパラメータを調べるときにご覧ください。

1 訂正

「Command Reference Manual」の p.8-18 の機能の記述を以下のように訂正いたします。

誤： (この番号は**第2のチャンネル**のディレクトリ番号とします)。

正： (この番号は**第1のチャンネル**のディレクトリ番号とします)。

2 CONGO 使用時の注意点

Windows 3.1

Web Wizard を Windows 3.1 のもとでご利用になる場合、Windows 3.1 に別途 TCP/IP 通信ソフトウェアをインストールしなければなりません。当社製品「CentreNET PC/TCP」と Web Wizard の組み合わせで不具合が発生することが確認されております。恐れ入りますが、Windows 3.1 に組み込む TCP/IP 通信ソフトウェアは、CentreNET PC/TCP 以外のものをご使用ください。Web Wizard をご利用になる環境は、Windows 95 をお勧めいたします。

Web Wizard を使用して CONGO を設定する場合、ファームウェア Release 9.5.1-TDM の CONGO の設定は Web Wizard Version 4.4 をご使用ください。 Release 9.5.1-TDM の CONGO に対して、4.4 より古いバージョンの Web Wizard を使用することはできません。また、Release 9.5.1-TDM より前のバージョンの CONGO に対して、Web Wizard Version 4.4 を使用することもできません。

Web Wizard を実行するとき、Web Wizard を実行しているパソコンが接続されている LAN に複数の CONGO を接続しないでください。Web Wizard は、同時に 1 台だけの CONGO を設定することができます。

DHCP サーバー

Web Wizard を使用して、CONGO の設定を行うと自動的に DHCP サーバーの機能が働くように設定されます。DHCP サーバーの動作を停止したい場合は、次のコマンドを入力してください。

```
SET DHCP SERVER ADMIN STATUS ETH1 DISABLED
```

DHCP クライアント

CONGO が割り当てを行った同一ネットワーク上の DHCP クライアントが、リモートのネットワークの DNS サーバを使用する場合 (当然 CONGO も外部の DNS サーバを参照するように設定されています)、意図しない発呼が発生することがあります。

Web Wizard または Express ACCess で CONGO を設定した場合でも、スタティックに NAT、NAF を使用してグローバル IP アドレスを指定するには「add ip map entry」コマンドで設定が必要です (本冊子「3 Command Reference Manual 追補」をご覧ください)。

Express ACCess を使用し CONGO を 3 点間接続するように設定する場合、2 つの接続先に対して異なるサブネットマスクを設定することはできません (Express ACCess を終了後、コマンドで変更することが可能です)。デフォルトのサブネットマスクはクラス C (255.255.255.0) に設定されています。

FTP でのセッション中に IP ネゴシエーションでの接続が実行されると、そのセッションは中断して FTP サーバに残ったままとなります。これにより、IP ネゴシエーションでのリンクが終了したときに、FTP のみならず同時に実行しているアプリケーションでも不具合が生じる可能性があります。

「set configuration factory」を実行すると2つの**ブリッジポート**が有効となるように設定されます。

X windowsのプログラムによっては、CONGOのIPネゴシエーション、NAFまたはNATの各機能と相性が悪いことがあります。

PING

IPネゴシエーション実行中には、CONGOからIPネゴシエーションで入手したIPアドレス先へpingを実行することはできません。

接続している機器によっては、着信に失敗することがあります。

高次フィルタリングを行なう場合は、対象パケットの入力ポートと出力ポートの両方に対してプライオリティの設定を行なってください。どちらか片方だけへの設定では、正しくフィルタリングが働かないことがあります。

3 Command Reference Manual 追補

Add ip map entry

Delete ip map entry

機能 これらのコマンドで、スタティックなNAF、NATの追加または削除を行います。スタティックにIPアドレスを変換したいときは、これらのコマンドにより設定します。IPCPを用いたIPネゴシエーション(ダイナミックなNAT、NAF)を行う場合は、これらのコマンドで変換に用いるグローバルなIPアドレスを設定する必要はありません。NAT、NAFに対し、ダイナミックとスタティックを併用した場合、ダイナミックなNAT、NAFが優先されます。

書式 `add ip map entry port_id ip_address`

または

`delete ip map entry port_id`

引数 パラメータとオプションの定義は次の通りです。

`port_id`は、ダイアルポートまたはマルチリンクグループのことです。このダイアルポートまたはマルチリンクグループは、`add ip network entry [Dn!Mn]`コマンドですでに定義済みのものです。

`ip_address`は、特定のポートに属する変換に用いるグローバルなIPアドレスです。このIPアドレスの形式はa.b.c.dです(a、b、c、dは0～255の十進数です)。

使用例 `add ip map entry m1 129.192.85.2`

マルチリンクグループm1に、NAT、NAFの変換に用いるグローバルなIPアドレスとして、129.192.85.2を割り当てます。

```
delete ip map entry m1
```

マルチリンクグループm1に割り当てられている、NAT、NAFの変換に用いるグローバルなIPアドレスを削除します。

Display ip map entry

Display ip map table

機能 その時点でNAFが使用しているアドレスを表示します。
該当ポート名およびIPアドレスが表示されます。

書式 `display ip map entry port_id`
または
`display ip map table`

引数 パラメータとオプションの定義は次の通りです。

port_idは、ダイヤルポートまたはマルチリンクグループのことです。このダイヤルポートまたはマルチリンクグループは、`add ip network entry [Dn!Mn]`コマンドですすでに定義済みのものです。

使用例 `display ip map entry d1`

1つの項目を端末の画面に表示します。

```
port          = D01
mapped addr   = 129.192.3.4
```

または

`display ip map table`

すべての項目を端末の画面に表示します。

```
port = mapped addr
D01  = 129.192.3.4
D02  = 129.192.185.4
M1   = 129.200.4.1
M2   = 100.11.12.1
```

portは、ポート番号を示します。

mapped addrは、NAT、NAFに割り当てられているグローバルなIPアドレスを示します。

ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品に付属している各日本語ドキュメント類およびWeb Wizardの日本語部分は、アライドテレシス(株)が作成し、著作権を所有しています。

©1996-97 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。

ACCは、米国Advanced Computer Communicationsの登録商標です。

CONGO、ExpressACCess、Web Wizardは、米国Advanced Computer Communicationsの商標です。

PC/TCPは、米国FTP Software, Inc.の登録商標です。

LZSとStackerはそれぞれ、Stac Electronicsの商標と登録商標です。

NetWareは、米国Novell, Inc.の登録商標です。

Sunは、米国Sun Microsystems, Inc.の登録商標です。

Windows、MS-DOS、Microsoftは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1996年 8月	Ver. 1.0 pl. 0	Controlled release
1996年 9月 25日	Ver. 2.0 pl. 0	初版
1996年 10月 23日	Ver. 2.1 pl. 0	Rel. 9.xに関する差分情報の削除
1997年 4月 22日	Ver. 3.0 pl. 0	Rel. 9.5.1のために新規作成